
君が僕であなかが私

コルっち

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

プロローグ

もともとPC版のMMOの中でとても人気だったソフトが今回、VR用に仕様の改良版が発売されてその初回ロットの三万本のうちのひとつをで予約をし、一年以上首を長くして待ちいざ買えたと思いつつVMMOをやってみると、単なる開発者の遊びで作った仕様がバグのせいらしく、クリアするまで終了出来ないしゲーム内で死んだり接続を外されたらリアルという名の現実で死ぬとかいうどこのラノベだよ仕様になつたり…

唐突だけど…

他人の体つてもものすごく使いづらい…

しかも、その体が異性のものだったら余計にだ…

そして一度くらいは他人の体になってみたいなんて思っている男子諸君もこれを読めばすごい苦労する事をわかってもらえるだろう。なぜならゲーム内でふとした事故によりキャラが入れ替わってしまったからだ…

まあ、そんな例は俺らしかない特殊な例らしいが…

1話

この世界はとてつまらなくそして自分はいろいろとツイてない！
だが、この時はただでさえツイてないのにも関わらず本当にツイて
ない体になるとは思ってもいなかった…

「よお、雅輝！お前、何時にも増してなんか暗いな…なんかあった
のか？」

「ああ、なんだ…浩介か…いやあ、昨日は日直だったじゃん。」

「あつ！昨日の浮島にけられたやつ？」

「うん…」

浮島と言うのはあだ名、自分のクラスの担任で本名を鈴村紀夫とい
うのだが外見は、ケツアゴで頭がてっぺんを中心に禿げてるけど前
髪のがごりかなんか知らないが頭に黒い浮島があり、最近なにを思
ったのかしらないが無造作にヒゲを伸ばし始めた先生なのである。
なんか髪にすごい未練がありますって感じだからいつそ、坊主にす
ればいいのに…

まあ、そんな事はおいとして、その先生は英語の担当なのだが、昨
日は授業が始まる時に入ってきた時に機嫌が悪かったのと、たまた
ま日直で黒板を消したのだが、一部、薄くチョークがのこり白くな
っていたのと、教壇に黒板消しが落ちた後があり、そのせいで

「日直！ちゃんと黒板キレイにしろよ！教壇はモップで今すぐふけ
！」

と怒鳴りながら、いきなりローキックをしてきたのだ。

いやいや、いくら機嫌悪い＋僕の事が嫌いだからとはいえ、ねえ…
そこそこ普通の蹴りだったんで地味に痛かったのと周りからのああ
かわいそうにみたいなの視線がとてモイタかった…

蹴られた後モップを濡らして教壇拭いて…
やっと授業が始まりました！みたいなの…

「二度ある事は三度あるっていうじゃん！なんか今日嫌な予感する
んだよね…」

蹴られたのが二度目で一度目というのが前々回の授業で単語の小テ
ストの時にその先生に字が汚く名前が読めないといきなり頭を叩か
れ単語が抜け落ちてしまい、点数が悪かったのだ…ツイてない…

「うーん、まあ気にすんなよ！ほらっ、はやく行こうぜ！」

「まあ、気にしても仕方ないよねー今日は、なんも無ければいいな
…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7186y/>

君が僕であなが私

2011年12月2日17時56分発行